

ニュースリリース

ビレッジハウス・マネジメント株式会社

2022年9月13日

自宅でできる備えと、いざという時の避難所生活を学ぶ防災イベントを実施

外国人の防災意識を高め、安心な暮らしをサポート

全入居者の約6割がベトナム人、兵庫県加東市のビレッジハウスで初開催

ビレッジハウス・マネジメント株式会社（本社：東京都港区、最高経営責任者：岩元 龍彦、以下ビレッジハウス）は、兵庫県加東市にあるビレッジハウス社（やしろ）・社第二（やしろだいに）に居住するベトナム人を主な対象とした防災イベントを、2022年9月11日（日）に行いました。本イベントは、災害の多い日本での安心安全な暮らしをサポートすることを目的に開催したもので、災害時における自宅での備えや避難所生活のポイント、指定の避難所までの経路確認を学び、イベント終了後にはベトナム料理を囲んで入居者との交流を図りました。

ビレッジハウスとして、防災をテーマにしたイベント開催は初めてで、当日は20人のベトナム人が参加しました。



ヘルメットをかぶり実際の避難所まで歩く様子



完成した段ボールベッドに座る参加者

近年、中国、ベトナムをはじめとする外国籍の労働者の入国が拡大する中、特に、兵庫県加東市は地域の製造業に従事するベトナム人が多く、ビレッジハウス社・社第二の全入居者の約6割にあたる、約100人がベトナム人です。

ビレッジハウスでは、外国人入居者が安心して暮らせるよう多言語対応のサポート体制を構築し、全国からの問い合わせにベトナム語、ポルトガル語、英語でも対応しています。このたび、防災月間である9月に、日本特有の災害の知識や避難所生活の情報を提供することで、日本での暮らしをより安心安全に過ごしてほしいとの思いから防災意識を高めるイベントの実施を企画しました。



実際の避難行動、避難所生活について講義



イベント終了後のベトナム料理を囲む交流会

当日はひょうご防災特別推進員で防災士の石崎 徹さんを講師に、阪神・淡路大震災の被害状況の説明、災害時の初動の重要性や避難所生活の様子、ベトナム語での情報収集方法を学びました。その後、避難先での使用を想定した段ボールベッドの組み立て、ヘルメットをかぶり避難所指定の小学校まで実際に移動する体験を全員で行いました。講義内容は、ベトナム語版の資料を作成し参加者へ配布することで、イベント終了後にも活用いただけるよう工夫しています。

イベントに参加したベトナム人からは「地震があった時に電気を消す、ガスを閉めるなどの行動が勉強になった。万が一、災害に遭った場合には今日やったことを実践したいと思った。(20代・男性)」 「これまで防災について学ぶ機会がなかったため、いざという時は今日学んだ知識を役立てたい(20代・女性)」などの感想があり、手ごたえを感じた様子が伝わってきました。

ひょうご防災特別推進員の石崎さんからは「参加者には『自分の命をどう守るのか』を最優先に考えるよう伝えた。外国人にとっては地震が起きた時のイメージがわきにくいいため、実際の避難行動や、避難所では日本語が分からないことをしっかり伝えたいと、みんなで協力しファミリーとして行動することの必要性を伝えた。また、一般的に企業でも災害時の備えは行っているが、実際の行動については自分たちが伝える役目であると考えている。いざという時に正しく行動できるよう、今後も企業との連携を深めていきたい」とコメントをいただきました。

ビレッジハウスは、低廉な家賃で良質な住宅であるアフォーダブル・ハウジングを提供している民間会社として、よりよい日本の住宅環境を築くと共に、住まいを探す全ての人に寄り添い、入居者の安心で安全な暮らしをサポートしてまいります。

■「災害に備えて安心な暮らしを！ベトナム人を対象とした防災イベント」開催概要

主 催： ビレッジハウス・マネジメント株式会社

日 時： 2022 年 9 月 11 日（日） 10:00～12:00

実施場所：ビレッジハウス社第二 集会室

兵庫県加東市沢部 709-2

物件 URL：<https://www.villagehouse.jp/chintai/kinki/hyogo/kato-shi-282286/yashiro-dai-2-5162/>

対象者： ビレッジハウス社および社第二に居住するベトナム人

※同物件は 4 棟 160 戸のうち 144 戸入居、全入居者の約 6 割、約 100 人がベトナム人

参加者： 20 人

内容：

① 講義「災害への備え」（10:10～11:10）

- ・地震について 阪神・淡路大震災の記憶から
- ・家にいるときに地震が起こったら、避難することになったら
- ・災害時に役立つツール
- ・段ボールベッド作成ワークショップ

② 演習「避難所までの経路確認」（11:20～12:00）

③ ベトナム料理を囲んだ交流会（12:00～13:00）

■ひょうご防災特別推進員

ひょうご安全の日推進県民会議が取り組む、阪神・淡路大震災の経験と教訓を伝え続け、安全で安心な社会づくりへの参画を広く県民に推進する事を目的に、「ひょうご防災特別推進員」として自治会や学校、企業などに派遣、防災対策に関する講義や防災訓練の企画・運営の助言、ワークショップを通して震災を風化させない取り組みを行っています。

ビレッジハウス・マネジメント株式会社について

ビレッジハウス・マネジメント株式会社は、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が雇用促進住宅を民間に売却した際に、フォートレス・インベストメント・グループが一括取得し「ビレッジハウス」へリブランディング、リノベーションして賃貸住宅として提供しています。全国47都道府県で1,060物件（2,844棟、105,150戸）※¹の賃貸住宅「ビレッジハウス」を運営、管理する国内最大級の賃貸住宅サービス会社です。住宅を建て替えるのではなく、既存の建物を有効活用、長く使用することで低賃料を実現し、民間会社で唯一大規模にアフォーダブル・ハウジング※²を提供しています。簡単な手続きと低賃料で安心安全な賃貸住宅を、低所得者層を含む全ての人へ積極的に供給することで、よりよい日本の住宅環境を築くことを目指しています。

※¹2022年8月1日時点の戸数

※²中低所得者が収入に応じた適正な家賃負担で入居できる低廉で良質な住宅

2022年8月1日現在、1,061名の従業員を擁し、東京本社のほか全国7支社、住まい相談センター、契約事務センターを展開し自社一貫のサポート体制を整えています。

■ビレッジハウス・マネジメント株式会社

<https://www.villagehouse.jp/>

本 社：東京都港区虎ノ門 4-3-13 ヒューリック神谷町ビル 4 階

設 立：2016 年 12 月 21 日

本件に関するお問い合わせ

■ビレッジハウス・マネジメント株式会社 コミュニケーション本部 / 平田・若林

E-mail：vhm-PR@villagehouse.jp